



これからの人材育成

校長 矢野 尊久

「山は樹を以て茂り、国は人を以て盛んなり」、これば明治維新に活躍した吉田松陰の言葉です。山に樹が茂るように、国は人で栄える、という意味で「人」が、国の発展や維持のためには大切であるということです。では、AIが台頭し、多くの物や価値がめまぐるしく変化しているこの時代、ここでいう国を栄えるようにできる「人」とはどのような資質・能力を備えた人なのでしょう。また、人を育てる現場である学校ではどのような点に重点を置いて育てていけば良いのでしょうか。

令和5年からの文部科学省有識者検討会「今後の教育課程、学習指導及び学習評価の在り方……」において慶応義塾大学の安宅和人氏の資料を拝見すると多くのヒントが書かれていて、とても参考になります。氏は、これからの時代の育成のポイントとして①新たな変化を生み出せる人を育てられるか ②振り回す側に立つのか、振り回される側に立つのか ③変化を生み出す社会が求められる人材を育てられるか ということを挙げています。そしてその価値を創造するための「根本にある力」として「**社会に課題を感じ、切り開く力**」を取り上げ、「これらの**基礎能力・マインドは……大人になってからでは身に付かない、高校卒業までが勝負**」と厳しく述べています。ここでの「高校卒業まで」の根拠は、先ほどの吉田松陰、トーマスエジソン、アインシュタイン、グラハムベル、ソニーの成田昭夫、グーグル創始者のラリーページとサーゲイブリン、アップルのスティーブジョブス、パナソニックの松下幸之助の方々の名前を挙げて、これらの人たちは全て20代の時に多くの偉業を成し遂げているからなのだそうです。

さて、このことから人材育成で大切なことのひとつは、幼児期からもちろん、小学校から高等学校までの段階において自分たちの周囲や自分の属する社会から課題を発見し、そのことについて改善していく力を身に付ける人の育成です。特に公教育の期間である小学校、中学校ではその教育方針は重要です。中学校では、発達の段階を考えれば子供たちの生活や視野は自分の身近から自分たちの住む地域や地方、国にまで拡大していく時期です。社会に出てこれから活躍するためには、まず自分たちの地域に「課題」を発見し、課題解決を考えることで「**社会に課題を感じ、切り開く力**」を培っていかなければなりません。大切なことは、ここでいう課題とは「自分にとって、社会にとっても意味のある問い」です。目先だけの学習では、この学習は「意味があるのか…」と思ってしまい、興味関心がそがれることもあるからです。学んでいて自分としての、そして社会としての意味が分かりづらいのです。興味関心を高めるためには、自分にとっても社会にとっても意味のある問いについて考えることが重要な視点になってきます。従来の教科学習は、各教科の知識を学び、教員が出題するペーパーテストなどの課題を解く能力を育成します。つまり教科学習は「答えのある問い」を「受動的に」学習するものです。しかし、冒頭の人材育成を考えるならば、課題解決学習、いわゆる探究学習を積極的に行い、生徒自らが「主体的に」考えて設定した「答えのない問い」や「答えの出し方が無数にあるような問い」に取り組むことがとても大切になってきます。

二中でも今できることを考えながら教科指導の中で工夫できるよう検討したり、探究的な活動の基本としてできるようしたりして参りたいと思っています。特に昨年度から市内一斉に取り組んでいる「ふるさと探究学習」には本校として改善をしながら取り組みたいと考えています。

◆◆部活動の様子◆◆

○硬式テニス部……

顧問から／女子は11月17日に多摩大会予選が予定されており、練習に励んでいます。この中で2年生が中心となり、ダブルス、シングルのメンバーを決め、初戦突破ができるように日々頑張っています。コーチも指導してくれ、生徒たちもやる気にあふれています。男子は11月10日に大会が予定されており、新チームで「まずは一勝」を目指して練習しています。

○バドミントン部……

男女とも10月27日（団体戦）、11月3日（個人戦）とEブロック新人大会に参加。男子団体はベスト8まで勝ち進みました。11月10日の試合で順位決めを行います。顧問から／練習の成果を発揮して精一杯頑張っていました。試合をとおして新たな課題が見えてきたので次の試合に向けて取り組んでいきます。

○サッカー部……

令和6年度11支部新人戦大会予選リーグに出場。東大和第三中とは2－7で敗戦、東村山第二中とは1－2で敗戦、武蔵村山第四中途は2－4で敗戦、武蔵野大学との試合は4－2で勝利しました。リーグ戦は1勝3敗となり予選リーグ敗退となりました。顧問から／試合を重ねる毎に成長が見られたので次の大会では新人戦の結果を上回るように日々練習をしていきましょう。保護者のみなさまも熱い応援をありがとうございました。

○バレーボール部女子……

9月29日に第11ブロック中学校バレーボール新人大会がありました。結果は東村山第三中と対戦し0－2、東村山第五中と対戦し1－2で予選リーグ敗退となりました。顧問から／ボールが安定してつながるように膝を意識して頑張っています。

○バスケットボール部……

11月17日から11ブロック新人大会が始まります。顧問から／多くの練習試合を重ね、技術もそして心も強くなれると信じています。

○ボランティア部……

10月16日にルピナス祭りに参加し、「魚つり」ブースを出店しました。これは昨年に引き続き参加で、部員9名で企画から準備、運営、参加・片付けまで行いました。顧問から／当日は昨年度の倍の延べ300人もの来客があり、部員たちは休む間もなく対応しました。想定外のことに部員でアイデアを出して臨機応変な対応する姿に頼もしさを感じました。

○野球……

多摩武蔵大会に出場しました。惜しくも予選敗退。顧問より／暗くなるのが早くなりトレーニングの時間が増えています。大変ですが全員で頑張ってください。

○文芸……

現在部員が夢中になって取り組んでいる活動は全員で会話しながら物語を創り上げていく活動です。顧問から／部員同士の対話で過ごす時間が放課後の楽しみなようです。主体的に活動しています。

○吹奏楽部……

合唱コンクールでの演奏、そして12月14日にはイオンモール東久留米でのクリスマスをテーマにした演奏会を実施、続いて12月21日には体育館でクリスマスコンサートを行います。顧問から／これから校内外の演奏会を控え、曲数が多いですが聴きにきてくれる方が喜んでくれるように練習を頑張しましょう。

○手芸部……

生徒作品展に向けて制作活動しています。顧問から／少しずつ作品が増えています。展示日が近づいてきて部員も気合いを入れて作業に取り組んでいるところです。

○美術部……

合唱コンクールの看板づくりをしました。今は作品展に向けた制作をしています。顧問から／校内の様々な仕事の依頼に応えています。学年に関係なく仲良く取り組めて良い雰囲気です。

○自然科学部……

事由研究をテーマに自分たちで興味をもった内容について研究・活動中です。熱気球や音の研究、スライム作り、ボールの曲がり型の練習など様々な課題に取り組んでいます。顧問から／楽しく活動しています。最近理科室を離れてグラウンドでも実験をしています。

